

	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの個人差について理解し、対応方法を身につける。特に発達の違いや生活環境にともなう子どものニーズを理解し、その対応について学ぶ。 ・指導計画を立案し、実際に実践する。 ・子どもの家族とのコミュニケーションの方法を、具体的に身につける。 ・地域社会に対する理解を深め、連携の方法について具体的に学ぶ。 ・子どもの最善の利益への配慮を学ぶ。 ・保育士としての職業倫理を理解する。 ・保育所の保育士に求められる資質・能力・技術に照らし合わせて、自己の課題を明確化する。 <p>* 実習後は、報告会、実習報告書の作成を通して、実習経験を知識として再認識する。</p> <p>* 実習の準備状況（事前学習・健康状態など）によっては、実習を履修できない場合がある。また、実習開始後も実習生として不適切な行動があった場合は、実習をとりやめとする。</p>
テキスト	保育実習マニュアル 西南女学院大学保健福祉学部福祉学科子ども家庭福祉コース これからの時代の保育者養成・実習ガイド 中央法規
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所保育指針解説書 厚生労働省 ・全国保育士会倫理綱領 全国保育士会
課題に対するフィードバックの方法	レポート外の提出物（実習日誌の記述）にコメントをつけて返却する 実習先からの評価を元に個人面談を行う
学生へのメッセージ・コメント	保育実習指導 2 での事前学習内容を振り返り、保育士に求められる知識と技術を身につけて実習に臨みましょう 保育所保育指針解説書、全国保育士会倫理綱領、保育実習マニュアルについては熟読しておくこと 実習課題を深める上でも実習関連文献の学習、個別の見学学習やボランティア学習を推奨します。 実習中の気づきや学びはメモに残しておきましょう。 事前学習ファイルを活用して、考察を深めましょう。